



令和元年度9月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校
令和元年8月29日発行
〒351-0007 朝霞市岡199
TEL 048 (461) 6540
Fax 048 (467) 4742

実りある2学期に向けて

校長 杉山 巖

夏休みに入ってから遅い梅雨明けの後には例年のような暑い夏でしたが、それも峠を過ぎ、でもやはり残暑の2学期を迎えました。さて、皆さんの夏休みは充実したものになったでしょうか。生徒の皆さんの中には、『二中ソーラン双葉』として彩夏祭で鳴子の演舞を行った者、部活動の県大会、関東大会、さらには全国大会に出場した部・生徒、あるいは、部活動では新チームで、すでに前を向いて活動していた部等、多くの皆さんが有意義な夏休みを過ごせたようです。

今年度の**部活動**の学校総合体育大会は、地区大会を勝ち上がった陸上部、剣道部、柔道部、ソフトボール部、テニス部の生徒が団体や個人で地区の代表として県大会に出場しました。そして、**陸上部の女子4×100mリレーは1位**となり、**埼玉県の代表として全国大会、関東大会に出場**、**剣道部女子団体は3位で関東大会出場**、また個人参加でも**3年生の下山翔君が水泳で関東大会**、**3年生鈴木夏空君、2年生鈴木星空君が、ウエイトリフティングで全国大会**に出場しました。

私も時間の許す限り、県大会、関東大会と応援に行きましたが、選手たちが今まで培ってきた全てを表現しようと集中している姿を見て感動して帰ってきました。勝ち負けもありますが、全力を尽くすところに競技後の喜びや満足感があり、清々しい気持ちになれるのだと思います。

また、彩夏祭の全学年の有志からなる『**二中ソーラン双葉**』も炎天下の中、すばらしい演舞を披露してくれました。いろいろな団体が参加する中、地域の中学校の力強い演舞を沿道の観衆に見てもらい、感動してもらうことができ大変うれしく思いました。学校公開もそうですが、地域の人に見てもらい、知ってもらい、知ってもらうことでまた応援してもらえます。『**二中ソーラン双葉**』の活躍が次の世代にも引き継がれていき、良き伝統の一つになれば幸いです。

さて、この夏は、中学生だけでなく様々なスポーツの大会がありましたが、その中のトップ選手が『**負けても反省、勝っても反省**』と言う話をしていました。負けたときは、もちろんなぜ負けたのか、その原因を考え、足りないものをどう補っていくか、次に負けないようにするために**どうすれば良いか、振り返る**のは当然でしょう。誰もがすることだと思います。では勝ったとき、1位になって頂点を極めても、やはり反省だということです。なぜ勝てたのか、**何が良かったのか、振り返る**。この状況を持続するためには、次も良い結果を残すためにはどうすれば良いか、振り返るのだそうです。

皆さんも1学期に、良かったことも失敗したこともそれぞれあったでしょう。どちらであっても、次にどう繋げるか、その経験を踏まえて行動しなければなりません。**実りある2学期に向けて、より良い未来に向けて**、この夏の経験を振り返って活かしてください。

3年生は修学旅行、2年生は東京フィールドワーク、1年生は強歩会、学校全体では合唱コンクールと2学期には大きな行事が目白押しです。またすばらしい皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。